

# BSC のコミュニケーションマネジメント機能：記号論の観点から

所属：浙江大学管理学院

発表者：根本 萌希

## I はじめに

BSC はコミュニケーションマネジメントに有用なツールである。BSC におけるコミュニケーション研究は、戦略コミュニケーション、コーポレートコミュニケーションなど多岐にわたっている。しかし、実際に BSC を運営する過程でおこなわれるコミュニケーションの把握は困難である。

## II 目的

本研究は、コミュニケーション構造の分析を試みる Jakobson のコミュニケーションモデルを基に、BSC が持つコミュニケーション機能の一端を明らかにする。

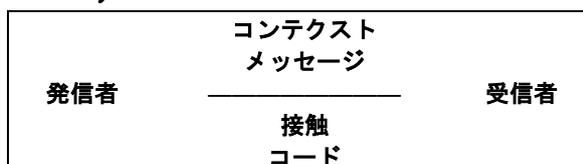
## III 研究方法

Jakobson (1960) のコミュニケーションモデルを管理会計に適用している先行研究（例：Pärl, 2012 ; Huang and Nemoto, 2022）に基づく文献研究をおこなう。

## IV 考察

Jakobson のコミュニケーションモデルには発信者、受信者、コンテキスト、接触、コード、メッセージの6つの構成要素がある（図 1 参照）。

図 1 Jakobson のコミュニケーションモデル



出典：Jakobson, 1960, p.3 より一部変更

Quesado et al. (2018) は BSC が他部門との円滑なコミュニケーションを可能にする主張している。この主張に拠るならば、BSC はコンテキストを共有するコミュニケーション機能を持つ可能性がある。

コンテキストとは、メッセージが効果を発するために必要な機能であり、受信者が理解できるような言語または言語化可能なものが該当する (Jakobson, 1960)。具体例として各職能が持つ特性や組織文化などがあげられる。

## V 結論

Jakobson のコミュニケーションが持つ6つの構成要素のうち、BSC は主としてコンテキストを共有するための機能を有する可能性がある。すなわち、BSC の作成者と利用者、マネジメント層とスタッフなどの間で生じるミスコミュニケーションを軽減する可能性がある。

## 主要参考文献

- Huang, Y. S. and Nemoto, M. (2022) Communication tool in management accounting: adapting Jakobson's (1960) communication model, *Humanities and Social Sciences Communications*, 9(316), pp.1-9.
- Jakobson, R. (1960) Linguistics and poetics, [https://pure.mpg.de/rest/items/item\\_2350615/component/file\\_2350614/content](https://pure.mpg.de/rest/items/item_2350615/component/file_2350614/content). [2022年10月13日閲覧]
- Pärl, Ü. (2012) *Understanding the role of communication in the management accounting and control process*. Tampere University Press, Finland
- Quesado, P. R., Guzmán, B. A. and Rodrigues, L. L. (2018) Advantages and contributions in the balanced scorecard implementation, *Intangible Capital*, 14(1), pp.186-201.